

# 知的障害特別支援学校における DC教育の実践

～教員と生徒が共に善き使い手をめざす学び～

大阪府立西浦支援学校 樋井 一宏  
帝京大学文学部心理学科 水内 豊和





# 大阪府立西浦支援学校について

知的障害のある子どもたちの通う学校  
生活環境や学習経験にもばらつき

学年ごとに課題別の学習グループを編成  
それぞれの課題に合わせた授業を展開



# 学校のICT環境

GIGAスクール端末 iPad

持ち帰りはなく 学校保管 学部別の保管庫で一括管理

授業のたびに持ち出し→返却 各教室にWi-Fi

アプリは決められた物のみインストール可能

番号で管理→年度末にリセット

\*今年度から持ち上がりが決定



各教室にWi-Fiルーター



中学部 保管庫

# 取り組みの出発点

「禁止」のルールや「怖い事例」ベースの授業



大人の知らないところでSNS等のトラブル

その都度「指導」するが改善せず

問題は深刻化する一方



アプローチを変える必要性

DC教育

# 実践のねらい

大人が使うように使える

禁止ではなく「どう使うか」「オープンに使う」

心身の機能を拡張する

学習にアクセスできる 表現のツールにする

生活に結びつける

必要なときに必要なだけ 自分で決めて使うことができる

わからないことはすぐ質問

# めざしたところ



比喩の理解 ・ 抽象的な事柄の理解 ・ 語彙 ・ 自信の無さ

具体的な場面 ・ 具体的な行動 ・ 言い換え ・ 支援し共に成功体験を



# 生徒たちの実態

知的障害特別支援学校 中学部 2年生 10名（教員2名）

課題別学習グループ 4展開中 最軽度

自立活動・道徳（50分×2コマ/週）

日常会話 口頭指示が可能

一方で・・・

学習意欲が高く 規範意識も高い 学習経験にばらつき

自信がない 手指の巧緻性に課題のある生徒も



# 授業①

授業でどう使いたいかを考えよう

STEAMライブラリー

「じぶんのパソコンを学びにつかうってどういうこと？」

動画視聴

<https://www.steam-library.go.jp/lectures/866>

自分の考えを記入→意見共有→追記

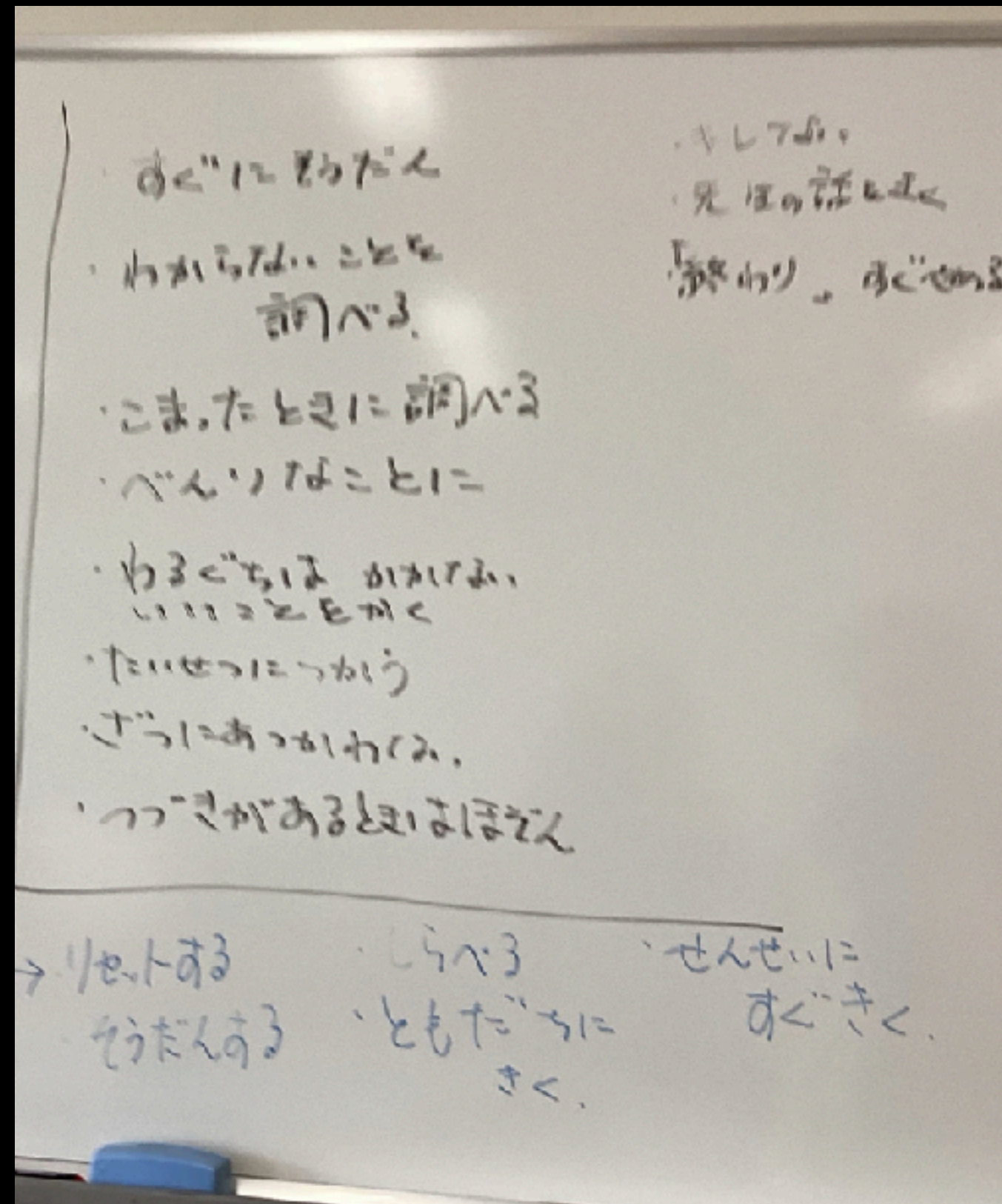


# 授業の工夫

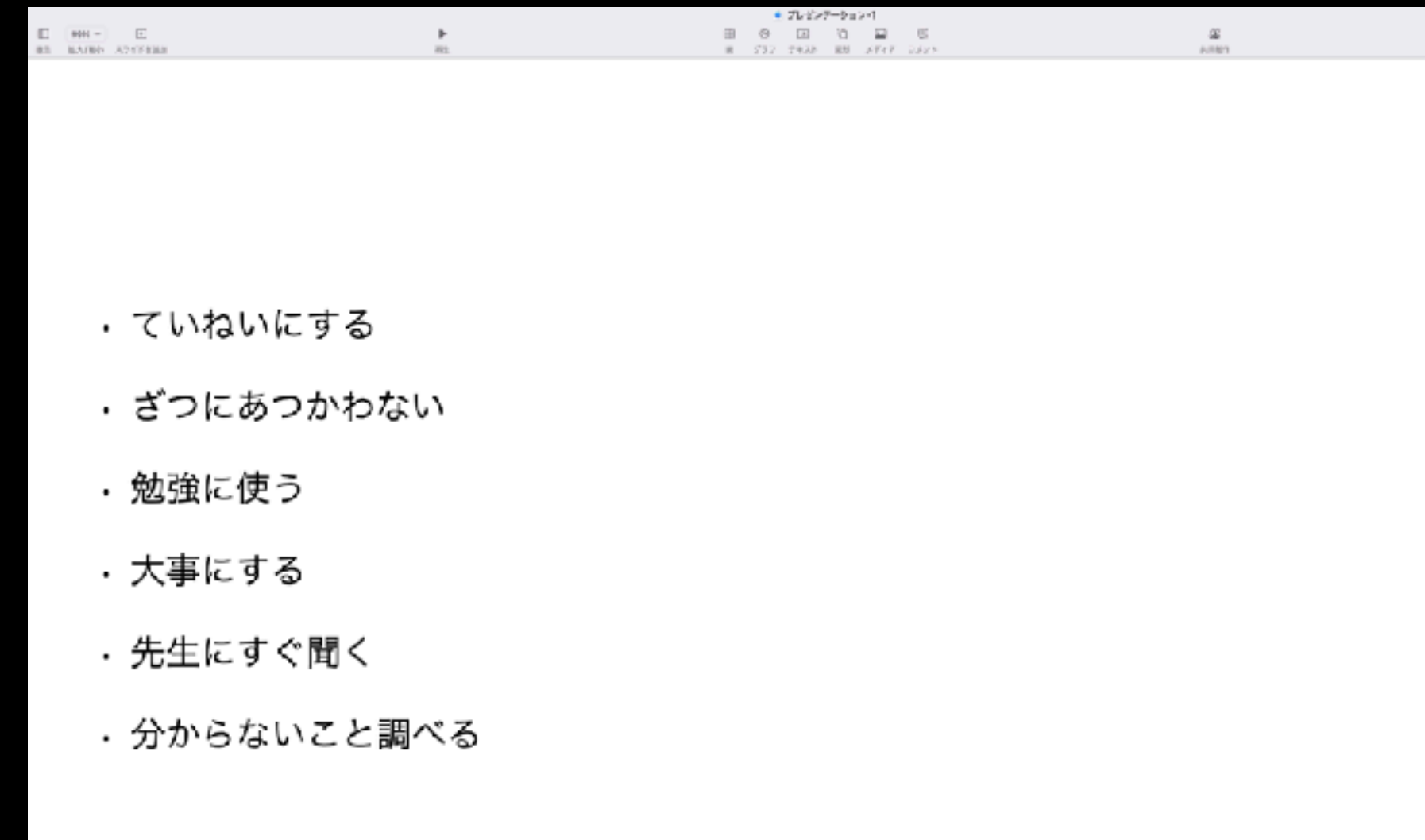
言葉の意味理解、状況を想像することの苦手さ

「授業（勉強）」の場面に限定する  
「質問（相談）」できることをめざす  
一人ひとり違う「約束」を認める

# 生徒たちの反応 IVグループ



意見を出し合い 交流



自分の考えをスライドにまとめる

それぞれの考えをまとめて  
意見を出し合い、追加する

# もう1つの学習グループ

知的障害特別支援学校 中学部 2年生 10名（教員2名）

課題別学習グループⅢ 4展開中2番目に軽度

国語・社会・外国語（50分×2コマ/週）

簡単な日常会話 簡単な口頭指示が可能

学習意欲が高く 規範意識にばらつき（強すぎる・難しい）

学習経験にばらつき

自信がない 集中力を維持しづらい生徒も

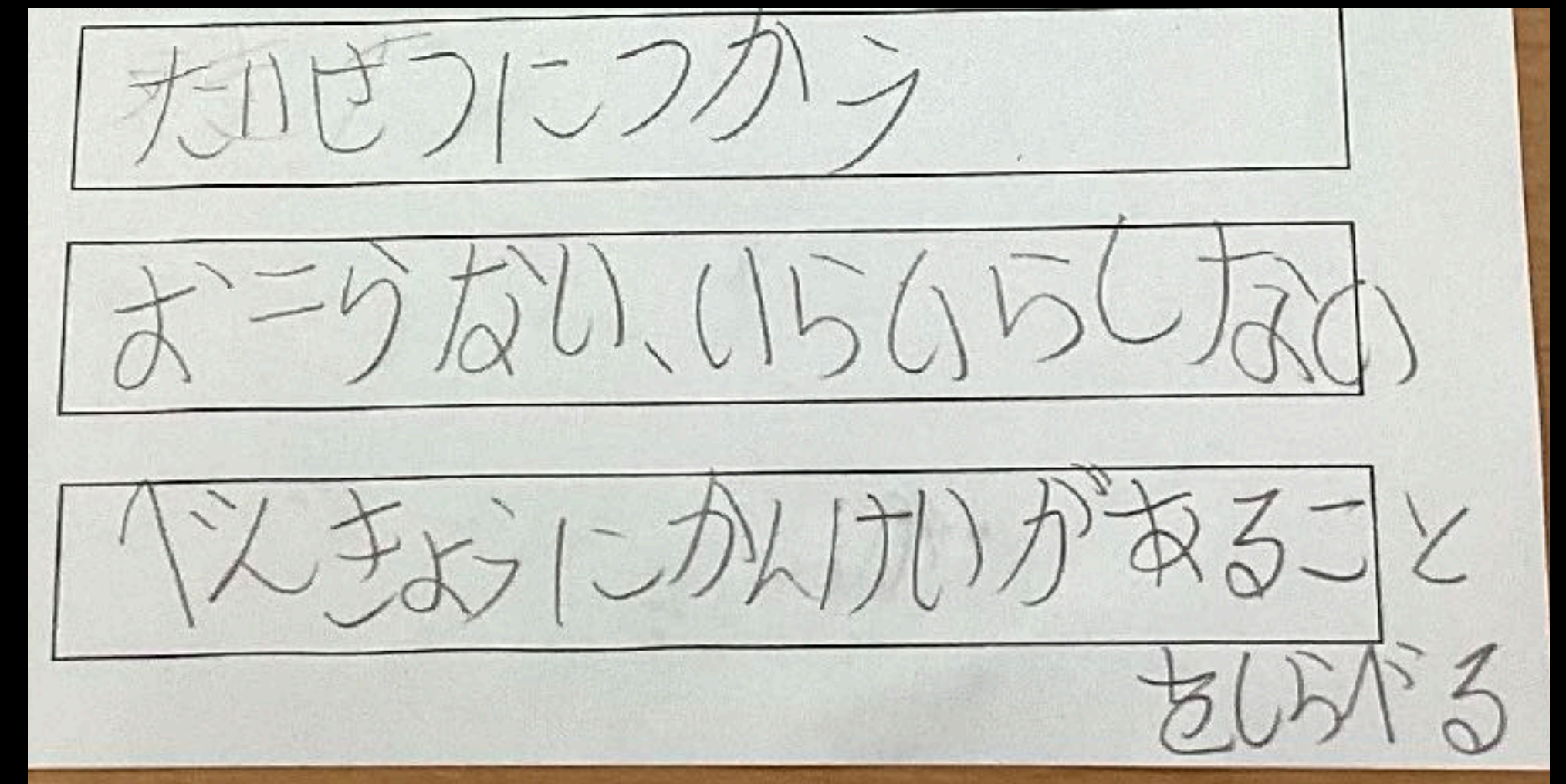
元気な生徒が多い



# 生徒たちの反応 III グループ

それぞれの考えをまとめて  
意見を出し合い、追加する  
ワークシート→写真

同じ学年の生徒であっても  
実態や課題に応じて  
カスタマイズ



授業を実施するタイミング・方法も学習集団によって変える

# 授業の様子②

自分の好きな壁紙を設定しよう

「壁紙かえて いいですか？」

自分だけのiPadにしよう

自分のものとすることで、  
愛着を持ち大切に扱えるように

# 生徒たちからの疑問

インターネット上の画像を使いたい  
著作権は？

クリエイティブコモンズライセンスとかあったような・・・

自分の絵や写真に著作権は？



NHK for School 動画視聴

アツと！メディア～@media～

「どうして許可をとるの？～著作権～」

[https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das\\_id=D0005180464\\_00000](https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005180464_00000)



# 授業の工夫

言葉の意味理解の難しさ

→「宝物」への言い換え

→著作権を知る 目標を段階的に設定する

「怖い」だけが残りやすい

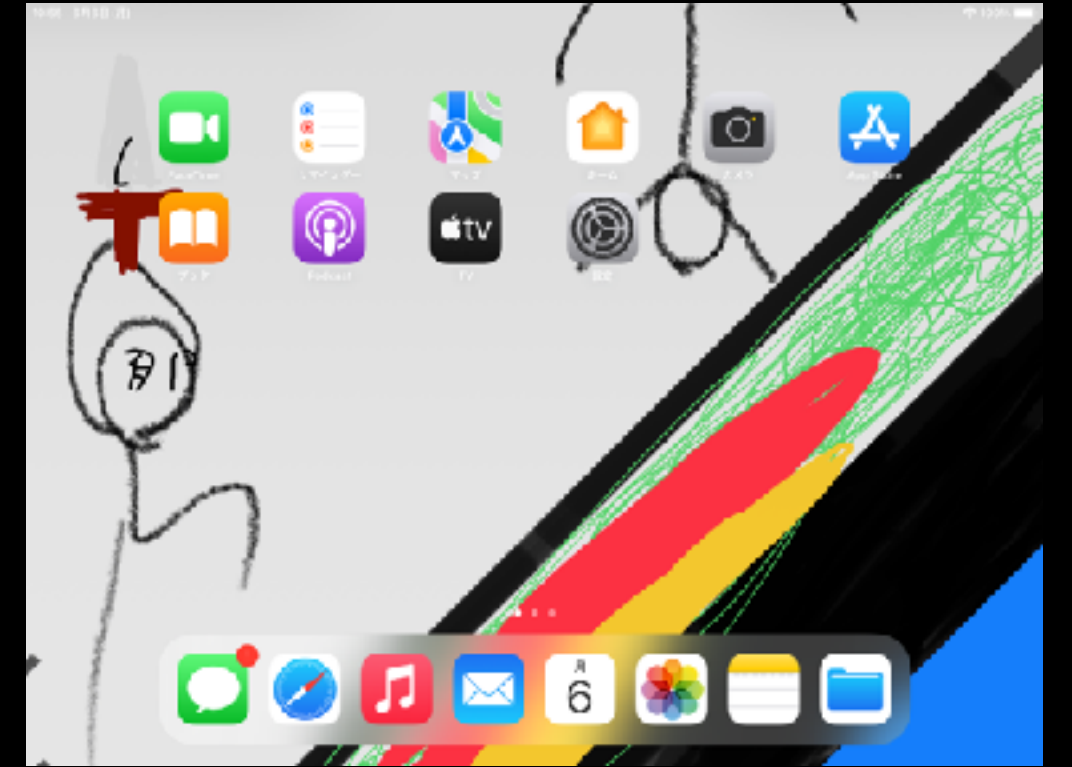
→著作権違反の「恐怖」ではなく

「どう使うか」「（知った上で）使わないか」

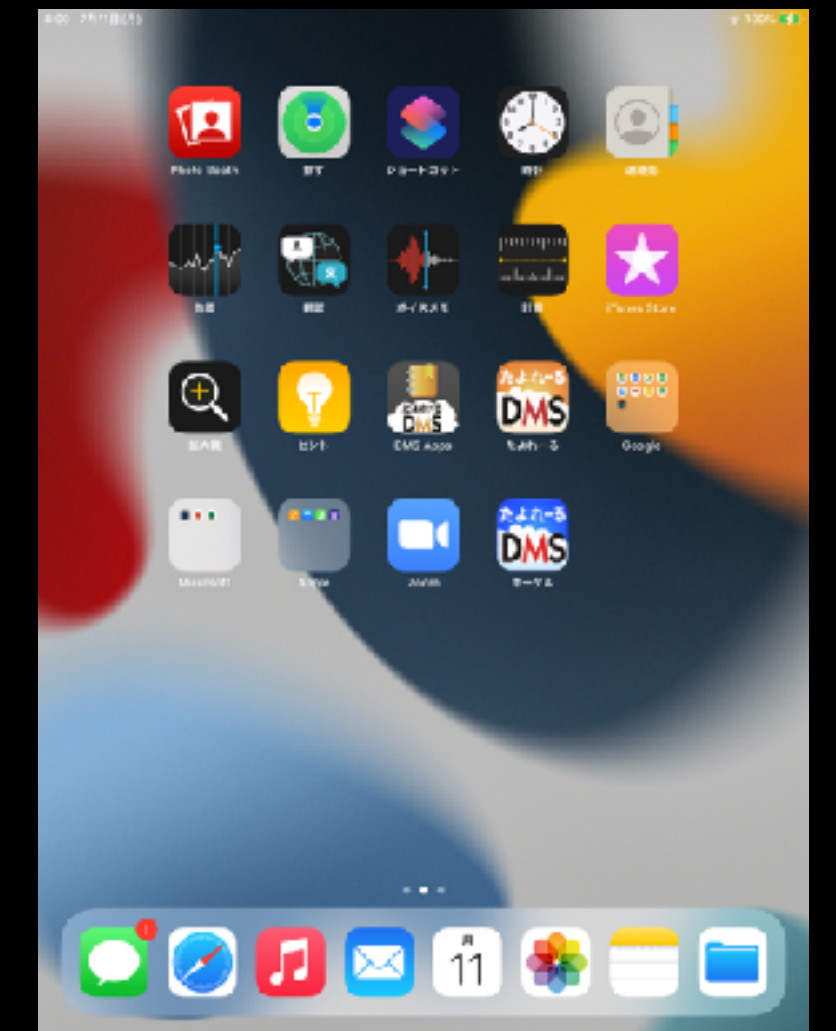
わからない時に「聞くことができる力」

# 生徒たちの反応

- ・ 最初から入っている画像を使う
- ・ 自分の撮った写真（好きな先生とのツーショット）  
→相手の先生にお願いしてから使う
- ・ クリエイティブコモンズライセンス検索して
- ・ 自分の絵をスクリーンショット



自分の描いた絵を壁紙にした生徒



デフォルトの壁紙から  
選んだ生徒



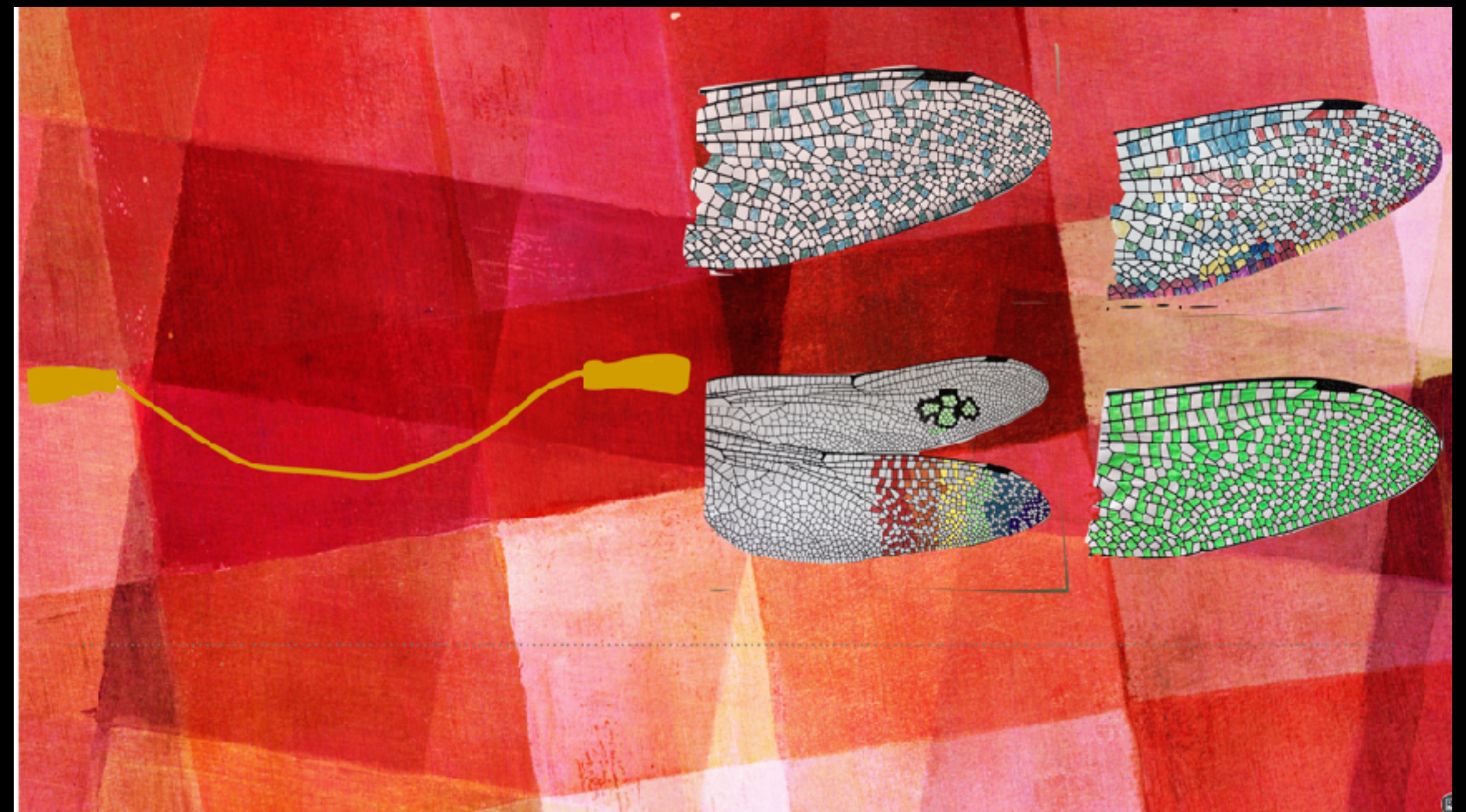
# その後の生徒たち①

劇行事の背景作りで

→クリエイティブコモンズライセンス検索

→良いのが見つからない・・・

→自分で描けば良いや





# その後の生徒たち②

# 学校紹介動画作り

→ 「これって、著作権大丈夫かな？」

→一緒に調べてみよう

→ 「これどういう意味？学校はOK？」

→ 「大丈夫みたいやね」



H.P.いらすとや  
よくある質問 一部抜粋  
[https://  
www.irasutoya.com/p/  
faq.html](https://www.irasutoya.com/p/faq.html)



# 知っていることが大切

そして、「相談（質問）」できること

言葉の意味が難しくても、助けがあればできる



# 生徒たちを取り巻く環境

iPadの保管は保管庫・・・

→それでも持ち出し・返却は生徒自身で

質問された時に「すぐ」答える

→質問する・一緒に解決する・質問して良かった体験を

課題から逸れてしまった生徒に

→「アカンやる」ではなく

「どうするんやっけ？」 「滋賀限定のスニーカー調べてみたら？」

# 大切にしたいこと①

どうすれば「自分ごと」にできるのか？

自分で選ぶ

自分で決める

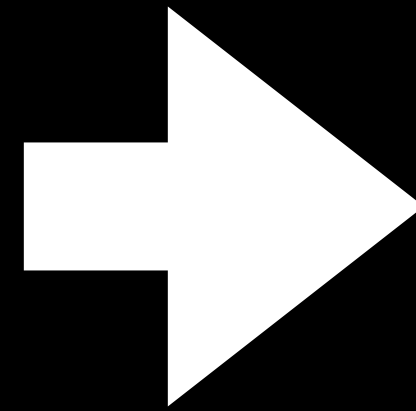
自分で行動する

自分の選択が尊重されること  
変化を認めること  
周囲から学ぶこと

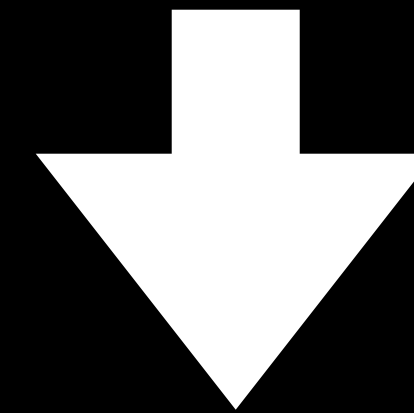


# 大切にしたいこと②

わからない  
困った  
なんかおかしい  
気づく



質問  
相談

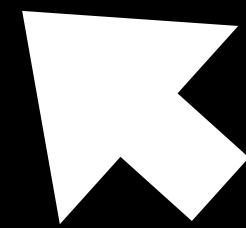


具体的な行動を  
相談できる環境  
相談する成功体験

共に 考える

# (デジタル) シティズンシップの 所在

社会の一員として  
社会にアクセス



まずは  
大人がその意識で関わる  
こと

実態に応じて  
なにをどこまで  
伝えるか

具体的な行動と成功体験

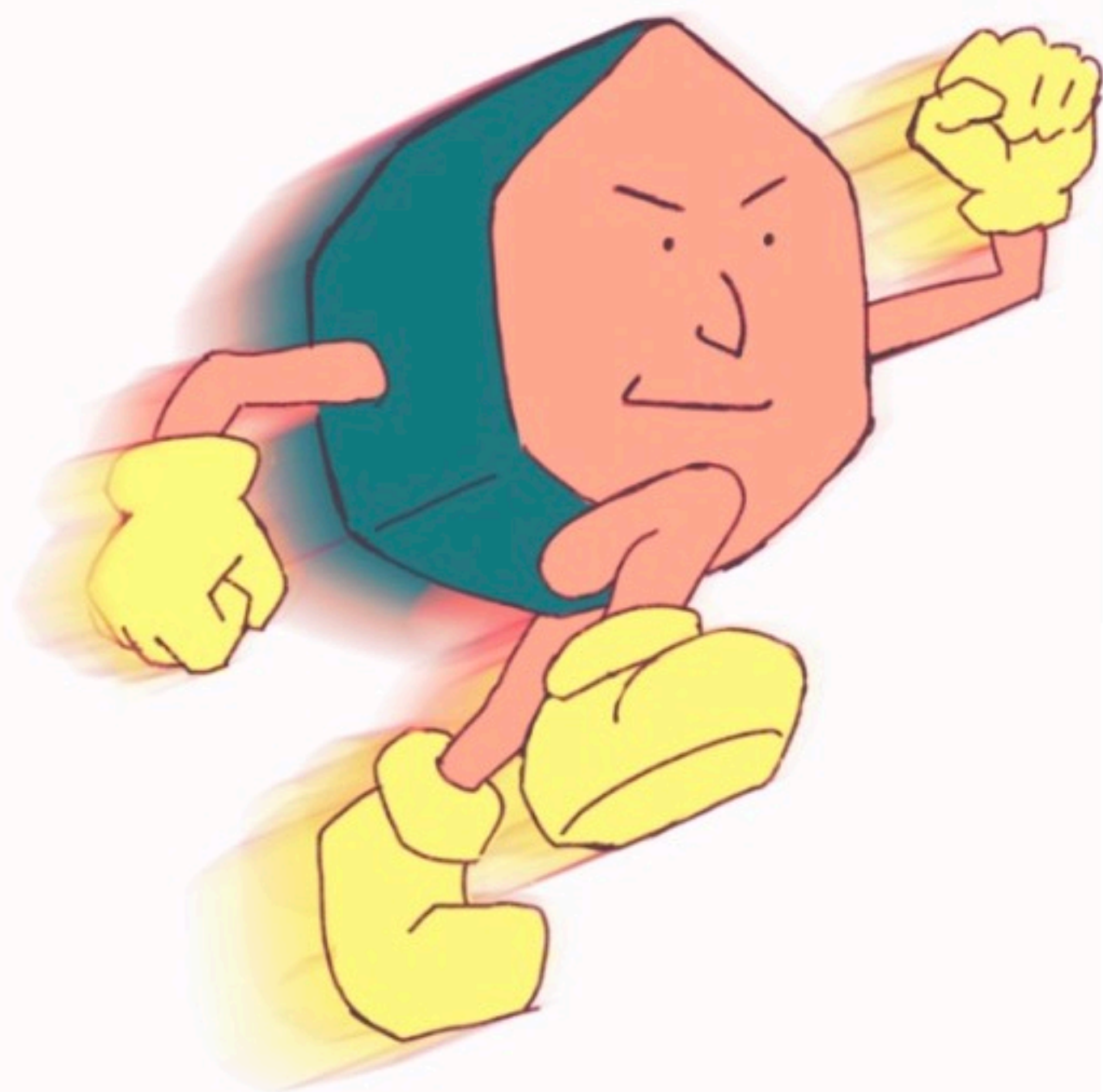
自立活動

教科の力

子ども

教員  
保護者など

(デジタル) シティズンシップ



**ダッシュニン！！**

発表者モチーフのゆるキャラ「ダッシュニン」

ありがとうございました！！



発表者HP  
QRコード



発表者  
YouTubeチャンネル